



悠紀だより

甲府市立石田小学校

令和2年11月30日

Vol. 10

校長 雨宮 秀樹

ゆうき祭り

一学期は、いろいろな行事が殆ど行えず、6年生の活躍の場も少なくなっていました。二学期になり、運動会を始め幾つかの委員会の活動など、少しずつ高学年の活躍の機会が持てるようになってきました。



11/13（金）に行われた今年のゆうき祭りは、コロナ感染予防のため児童だけの平日開催となりました。1つ1つの活動前後で消毒するのはもちろんのこと、日程の途中にウォッシュタイムを設けグループ毎に分かれて手を洗ったり、密集を避けるため1つの縦割り班が2教室を使ってお店を準備したりと、感染対策も講じました。

ゆうき祭りのテーマ「みんなの笑顔 絆を深め 仲間と協力 ゆうき祭り」のとおり、異年齢によるペアを組み、一緒にお店を巡りながらコミュニケーションを図っている様子は微笑ましいものでした。それぞれのお店では、2つの会場を使い簡単コースと難関コース等を設定し、自分たちで難易度を選ぶようにと工夫していました。

子どもの反省からは、「去年と違って、5年生という立場で6年生の様子を見ていました。すると、いつも以上に6年生が頼もしく思えました。」という言葉が聞かれました。その他、「お客さんがたくさん来て、緊張して大変だったけど、自分の仕事をちゃんとできた。頑張って良かった。」「お店を回るとき、一緒に回った子の面倒をしっかりと見られた。ペアの人と仲良く回り、楽しくできて良かった。」「とても楽しかった。また来年もやりたい。」等の感想が出されました。

子どもたちがそれぞれの発達段階に応じて役割を与えられ、責任を持って取り組んでいく機会を、意図的・計画的に設定する中で、活躍したり達成感を味わったりすることができます。小学校では、特別活動（学級活動・児童会活動・クラブ活動・学校行事）という領域に位置付けていますが、教科学習以外の学びも子どもたちの成長に欠かせない大切な時間です。Withコロナの中、最大限の教育活動を進めています。

修学旅行

少しずつ明るさが増し始めてきた石田小学校の校庭に、大きなバックを抱えた子どもたちが集まってきました。遠くに富士山も姿を現し雲一つない快晴の下、11月26日（木）6年生54名全員で修学旅行に出発することができました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、学校行事を始めとする教育活動も様々に制約があり、その時々々の知見を基に大きな修正をしなければならない状況の中、本校でも春に予定されていた修学旅行が秋に延期となりました。その後も、甲府市内の中学校では修学旅行

中止の決断をしたり、2学期始めに変更していた修学旅行を再延期することになった市内小学校も出るなど、刻一刻と変化する状況を基に、最善の対応が取れるようにと準備を進めて参りました。県内・市内の小学校と情報交換をしたり、市教委から指導・助言を受けたりする中で、今回の見学・宿泊場所や日程等を何度も何度も検討しながら進めてきました。



一日目の見学は、新江ノ島水族館からスタートです。ほぼ貸し切り状態で班行動ができ、たくさんの相模湾の魚たちや幻想的なクラゲの水槽の前で釘付けになりました。ネコザメに触ったりイルカショーを見たりと大喜びです。バスで鎌倉市内へ移動中には、ガイドさんから、弁慶が地団駄を踏んだ小動神社や義経が源頼朝へ書いた腰越状など随所で説明があり、社会科の学習もできました。高德院大仏殿では、大きな大仏を見上げて頬に残る金箔を見つけました。ここでは、他校の騒ぎを見て自分たちの見学態度に生かす6年生の姿を、大変誇らしく思えました。鶴ヶ岡八幡宮は、朱色の神殿にイチヨウの黄色が映え、この時期ならではの味わいが感じられました。ガイドさんの案内で段葛を実際に歩いてみると、海側から境内に向かって道幅が狭くなっていく遠近法を利用した造りも体感できました。宿泊場所は静岡駅前の豪華なホテルです。広い会場の大きな円卓で、ナイフとフォークを使いながらの食事です。部屋からは、70万都市の夜景や新幹線の発着も見えました。

一夜明け、窓からは遠く富士山の姿も浮かび上がり、二日目も快晴です。日本平動物園では、愛らしいレッサーパンダに心を奪われたり水中に潜るホッキョクグマの迫力に圧倒されたりと楽しめました。この2日間、6年生の行動は大変素早く、集合時刻などの遅れがありません。そのため、昼食後は浮いた時間を利用し、ポカポカの陽気の中、展望台まで散歩することもできました。久能山東照宮へはロープウェイを使って移動しました。急勾配で段差の大きい石段に歴史を感じます。極彩色の社殿、荘厳な楼門、宝物殿では甲冑や刀剣などの展示を見学しました。眼下には石垣イチゴのビニルハウスが並び、真っ青な駿河湾の海の向こうには遠く伊豆半島も見えました。

充実した2日間、当初の目的を達成し、全員元気に帰ってくることができました。ご家庭での毎日の健康管理の他、多くの児童がたくさんの予備のマスクや携帯アルコールを持っているなど、保護者の皆様のご協力を大変ありがたく感じました。そして、何より、子どもたち自身に衛生習慣が身につけていました。コロナ禍の中、まだまだ先の見えない状況ですが、一人一人の意識の高さに大変心強く励まされた思いです。



6年生にとって、小学校生活は残り4ヶ月となりました。気持ちのよい言葉遣いと挨拶、今為すべきことを考え行動する姿勢、聞くときは聞き楽しむときは楽しむというメリハリのある態度、周りの友を思いやり自然に助け合う姿…等々、6年生の素晴らしい文化を下級生にしっかり引き継いでいって貰いたいと思います。